

第1号様式(第8条関係)

令和2年 4月 10日

東員町議会
議長 水谷 喜和 様

東員町議会議員

南部 豊



令和元年度政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)の規定により、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和元年度 政務活動費収支計算書

収 入

(単位：円)

項 目	収入年月日	金 額	摘 要
政務活動費	H31.4.25	110,000 円	11 ヶ月分一括振り込み
	R2. 3.10	10,000 円	1 ヶ月分一括振り込み
計		120,000 円	

支 出 (No. 1)

(単位：円)

項 目	支出年月日	金 額	摘 要
資料購入費	H31.4 月～	37,032	中日新聞購読料 (1 年分)
	R2.3 月分		
調査研究費	R 元 7 月 30 日 ・ 31 日	42,770	三島市・袖ヶ浦市
合 計		79,802	

領収書等添付一覧（令和元年度）

使途項目名	調査研究費			
年 月 日	支 出 内 訳	支 出	備 考	整理番号
R元年 7.30 ～31日	静岡県三島市・千 葉県袖ヶ浦市 交通費、宿泊費	42,770 円	旅費明細書 その他	1
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
合 計		42,770 円		

支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

調 査 旅 費 明 細 書

議員名 南 部 豊

調査研修事項 水環境整備とまちづくり・上総掘り技術伝承研修

目的地 静岡県三島市 楽寿園・千葉県袖ヶ浦市 郷土博物館

期 間 令和元年7月30日～31日(2日間)

(1) 交通費 28,940円

(交通費内訳)

日 程	区 間	交通手段	交 通 費
30日～31日	ネオポリス ～ 名古屋 (往)(復)	高速バス	2,360円
30日～31日	名古屋駅 ～袖ヶ浦駅 (往)(復)	JR	25,580円
30日～31日	千葉駅 翠川公園前 (往)(復)	モノレール	400円
31日	袖ヶ浦駅 袖ヶ浦公園前 往・復	市バス	600円
			円
			円
			円
			円
合	計		28,940円

(2) 宿泊費 13,830円

(宿泊内訳) 実費 13,830円 × 1泊

合 計 42,770円

参 考

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

領収書等貼付用紙

使途事項	調査研究費
整理番号	1
領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和元年 8月 2日	

領 収 証

No. 5298

南部豊様 2019年8月2日

金額	7,130.00
----	----------

上記正に領収いたしました

但

7% 宿泊代 (7票)

現金	0
小切手	
旅行券	

MIT 名阪ツアリスト
 MEIHAN TOURIST
 名阪ツアリスト株式会社
 〒511-0217 三重県いなほ町美杉町大塚新田431
 TEL.0594-74-3399 FAX.0594-74-3693

※金額を訂正したものと及び複写、社印無きものは無効。

使 途	静岡県三島市・千葉県袖ヶ浦市 調査研究 宿泊代
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	別紙調査旅費明細書のとおり 13,830 円

令和2年4月10日

東員町議会

議長 水谷 喜和 様

東員町議会 議員 南部 豊

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	令和元年7月30日(火) ～ 7月31日(水)【2日間】
目的(テーマ)	・水環境の再生とまちづくり ・上総掘り技術伝承について
参加議員名 (複数の場合)	山本 陽一郎 水谷 喜和 大谷 勝治 中村 等
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 南部 豊 〕

研修概要、内容、所感

初日 30 日午後

水の大切さは古来人類の生活における最大のテーマであったと思います。

わが東員町は地域的のも、員弁川から、また伏流水にも比較的恵まれ、水道設備維持環境は関係者の皆様の努力により、安全に保全されていると思われま

す。恵まれた水利用をさらに向上するため、今回の研修が活かされるよう努力して行きたいと思

水環境の再生とまちづくりについて

三島ホテルの会 会長 志村 肇

三島市役所 農政課課長補佐 稲村 真也 主査 久原 宗仁 他職員 3 名

世界かんがい施設遺産 世界水遺産 源兵衛川

源兵衛川は、世界水遺産に登録され、三島市立公園楽寿園小浜池や、その周辺の湧水群から湧き出る富士山からの湧水を水源とする。水路延長 1, 500 m、落差 8 m

三島市の中心市街を貫いて、国道 1 号線の南側のため池である中郷温水池に至り、水温を上昇させ南部の水田地帯、142 ha を灌漑している現役の農業用水路に活用がされています。

カワセミやホトケドジョウ等貴重な生物が生息し、初夏の夜には蛍が見られ、この場所は地域住民の憩いの場として、三島市が大切に保全に力を入れています。

歴史は古く、16 世紀（室町時代後期）に北伊豆の寺尾源兵衛によって、中郷地域 11 村の耕地を灌漑するために水路を開削したといわれています。

三島は、古くから水の都として知られ、富士山からの湧水を利用してきた。東海道の宿場町として栄えたが、豊かな湧水の恩恵に支えられていた。三島という地名の由来も囲まれた三つの島という説もあります。

人々の暮らしとのかかわり

農業用水としてつくられた源兵衛川であるが、市の中心地を流れるため、水道の普及する前までは、炊事、洗濯やブリキ製の川船により食品の貯蔵、精米水車の動力等、流域住民の生活用水として、日常的の利用されてきた。川に面した家では「かわばた」と呼ばれる張り出しをつくり、生活の場の一部として利用されてきましたが、いろいろな問題もでてきました。

水環境の悪化（高度成長期の到来）

1960年代中頃から始まった高度経済成長期に上流域の開発、都市化によって湧水量の減少、更に生活雑排水の流入、汚濁による水質の悪化など、川に対する人々の関心も低くなってしまった時期がありました。

再生への取り組み

環境悪化による再生への取り組みの声が市民から上がりました。そこで、次のような取り組みが行われました。

- | | |
|-----|---|
| 農業者 | 上流部から中郷温水池までを市民に開放することで、草刈り、泥上げ等、管理労力の軽減を図る。 |
| 市民 | 水辺を利用することで、湧水や川の環境に関心を持つ。ゴミを捨てない汚水を流さない |
| 行政 | 下水道接続の推進、河川を親水公園化、インフラとして整備する。周辺の景観の保全。 |
| 企業 | 工場機械の冷却水を放流。排水を流さない。社会貢献活動として、河川清掃に参加。イメージの向上 |
| 協働 | グランドワーク的手法 利害の調整、仲介役。 |

清流の復活

住民の協力により散策路が整備される。人家の密集する場所で、軒をかすめる散策路の整備は、居住する市民との理解により生まれた。

行政と市民の良好な信頼関係が生まれ、実現可能となり現在の形へと進化しました。

三島梅花藻が復活

水量を増加することにより、下水道の整備、接続への理解により水質が向上、清流が蘇り、市民団体の熱心な活動によって、一時は、絶滅した三島梅花藻が再復活しました。

水を活かしたまちづくり

わが町、東員町にも員弁川や各支川も多くあり、このような水辺を利用した公園的整備事業が可能となれば、川沿いに水車や噴水、揚水ポンプ、いろいろな仕掛けを複数設ける事による、自然公園的な遊歩道など、町民の皆様の憩いの場として、また健康増進に繋がる取り組みを考えるべきと思いました。

31 日午前

袖ヶ浦市下新田の同市郷土博物館訪問し、伝統的深井戸掘り工法「上総掘りの技術」が東員町にかつて同工法「上総掘り技術」で掘られた井戸が数多く残っていることから、情報交換し、研修をさせて頂きました。

上総掘り技術伝承研究会 袖ヶ浦市郷土博物館内

袖ヶ浦市郷土博物館 館長 井口 崇

袖ヶ浦市郷土博物館 副館長 西原 崇浩 主査 前田 雅之

上総掘り技術伝承研究会 会長 鶴岡 正幸 事務局 藤代 かおる

2006年、国の重要無形民俗文化財に指定された千葉県上総地域発祥の深井戸掘り工法「上総掘りの技術」。

その技術保持者である鶴岡正幸先生（三代目井戸掘り職人）のもと、技術保持団体に指定された「上総掘り技術伝承研究会」、重機も燃料も使わず少人数で効率よく掘れるシンプルでエコな技術は、今も世界各地で水を得るために活用されているとの事。

上総掘りとは、

掘削用の掘り鉄管と掘り屑をくみ上げるスイコ（吸子）、これらを井戸孔の中に下す。

割竹製のタケヒゴ（竹ひご）を基本的な用具とし、ホリテツカンの重さと人力で井戸孔の底を突いて掘削する突掘り技術のことで、上総（現：君津市）で考案されたことで名付けられました。

西上総地域の上総掘りの一番の特徴は、水が自然に地上まで噴き出す井戸が掘れることで、自噴井戸 又は 堀抜井戸とも言われます。

上総掘りの歴史

上総掘りの発祥の地は、君津市の小櫃地区と小糸地区といわれ、両地区とも河岸段丘が発達した河川中流域で、傾斜した被圧帯水層があり、飲料水、農業用水の確保が困難な場所で、より良い水を得る手段の一つとして井戸掘り技術の開発がすすめられました。

自然と共生

上総掘りで掘られた井戸は、現在でも飲料水、農業用水をはじめ、花卉栽培・酒造・天然ガス・ホンモオロコの養殖など、さまざまなことに活用されています。上総掘りの用具の大部分は木材・竹・粘土・わら縄など自然に還るものを使用しているので、近年では環境・地下水資源の保護の視点から注目されている。また、掘削中や完成後は動力を使用しないので、アジアやアフリカなどへの国際協力にも活用されています。

上総掘り井戸と員弁地域の堀抜井戸

明治10年代に、上総地方で考案された井戸掘り技術が、一部の地域や場所に技術伝承・堀削実施は行われているが、遠く離れた伊勢の国員弁の地、三重県北部の地域は、千葉県上総地域と同じように傾斜した被圧帯水層があり、それによって地下水が自噴しやすくなるという特徴があります。

現在でも100余の井戸以上が確認されており、半数近くの堀抜き井戸が東員町の員弁川左岸に存在確認されています。堀抜き井戸は、全国どこでも、地層構造が合致する地域であれば、掘られていると考えていましたが、例外を除いて多くの地域で確認されていません。

同館の二階には、常設展示室となっており、三重県四日市市で掘られた「上総掘り井戸」についてのパネルが展示せられており驚きました。

上総掘りの技術は、日本全国各地に出向き、伝えられ九州の別府温泉や新潟の油田などの発掘にも大きく関係し、その技術を広く伝えたことでも知られています。

今回の視察研修では、「命を守る水」がテーマでありました。

今後も、今以上に安全安心、そして安定供給が求められる「水」。

伊吹山からの伏流水を東員町では利用していると言われていたようですが、地域環境の変化や源流付近の開発等に大きく左右される現状を考えると、このままで良いということではありません。

東員町でも、将来に向け、行政や住民参加による自然環境の保護や災害時における井戸水の利用などの研究も必要であると思った視察研修でありました。

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和元年度)

使途項目	資料購入費		
年 月 日	支 出 内 容	支 出 額	整理番号
2019.4~ 2020.3	中日新聞購読料	37.032 円	1
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		37.032 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

領収書等貼付用紙

使 途 事 項	資料購入費										
整 理 番 号	1										
領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出年月日) 令和 2 年 3 月 30 日											
領収書は1年分をまとめて交付を受けました。											
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>北大社 739</p> <p>南 部 豊 様</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>令和 2 年 3 月</p> <p>お問合せNo. 622</p> <p>区</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">銘柄名 (*は軽減税率対象)</th> <th style="width: 10%;">部数</th> <th style="width: 15%;">金額</th> <th style="width: 25%;">備考</th> <th style="width: 20%;">合計金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中日新聞朝刊</td> <td>1</td> <td>0086</td> <td>2019年4月 ~ 2020年3月</td> <td style="text-align: right;">37000 円</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p>取扱い金融機関 百五銀行 J.A. 郵便局 中京ファイナンス株式会社</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>中日新聞北大社 豊田新聞 伊藤新聞 伊藤新聞店</p> <p>〒466-8601 愛知県豊田市 豊田南1-1-1 電話 0429-204000</p> </div> </div>		銘柄名 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考	合計金額	中日新聞朝刊	1	0086	2019年4月 ~ 2020年3月	37000 円
銘柄名 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考	合計金額							
中日新聞朝刊	1	0086	2019年4月 ~ 2020年3月	37000 円							
使 途	新聞購読料										
按 分 率 等 (按分の支出の場合)											
そ の 他											